

第1章

製薬会社がやっているこんなこと

Japan
Pharmaceutical
Manufacturers
Association

薬局で買えるくすりとは病院のくすりって、何が違うの？製薬業界はどんなことに挑戦しているの？治療法が見つかってない病気への挑戦も含めて、製薬の基本を一緒に見ていこう！



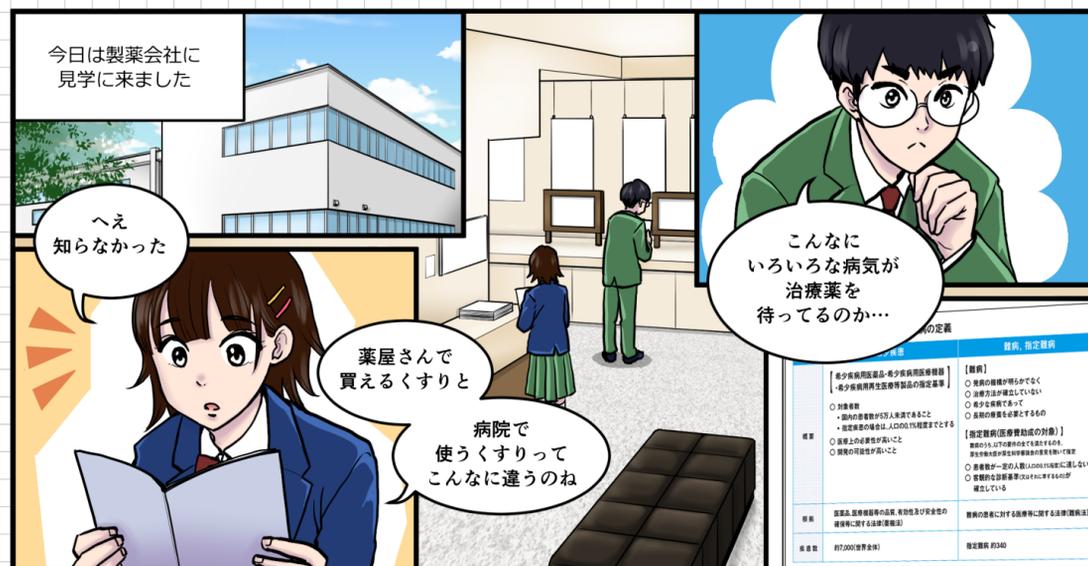
ユイ
好奇心旺盛な中学3年生。



レン
ユイの同級生の科学部男子。



朝倉
製薬会社の若手研究者。
ユイ・レンの学校の先輩。



医療用医薬品と一般用医薬品の違い

くすりには、医療用医薬品と一般用医薬品の2種類があります。医療用医薬品は、医師の診察を受けて処方してもらうもので、病院や調剤薬局で扱われるくすりです。一般用医薬品は薬局やドラッグストアなどで買えるくすりです。世の中で使われるくすりは、実は医療用医薬品の割合が非常に高いです。

医療用医薬品
病院・医院で処方する

医師が患者さんの症状に合わせて、有効な薬剤を的確に処方します。

一般用医薬品
薬局・薬店で入手可能

一般の人がみずから使用するため、安全性に配慮し、軽い症状のセルフケアに使われます。

難病や希少疾患の数

治療法が確立していないような病気「難病」は国内では約340種類^{*}、患者数が少ない病気「希少疾患」は世界で約7,000以上も存在します。たとえば、パーキンソン病や潰瘍性大腸炎といった名前を耳にしたことがあるのではないでしょうか。

^{*}難病法という法律に定められた疾患数
出典:2024年11月の「希少疾患における医療従事者の困りごとに関する調査」



Unmet Medical Needs



アンメット・メディカル・ニーズに対する新薬の開発件数一例(2023年調査)

肺がん	58件
乳がん	32件
悪性リンパ腫	18件
肝がん	17件
前立腺がん	16件
白血病	16件
胃がん	15件
大腸がん	12件

出典:医薬産業政策研究所 取組研ニュースNo.70(2023年11月)



アンメット・メディカル・ニーズとは

いまだ有効な治療法がない病気に対する医療ニーズや、いまだ満たされていない医療ニーズを「アンメット・メディカル・ニーズ」と呼びます。アルツハイマー型認知症、がん、ALS(筋萎縮性側索硬化症)などが代表的な例です。

主要なアンメット・メディカル・ニーズ

(例) ALS
アルツハイマー病 多発性硬化症 (筋萎縮性側索硬化症) 膵がん 全身性強皮症

新薬が解決してきたニーズの例

アンメット・メディカル・ニーズのある疾患について、2023年6月末時点では、肺がん58品目、乳がん32品目、悪性リンパ腫で18品目、肝がん18品目など、多くの医薬品が研究開発されています。